

耶麻農高 農場便り

あ・ぐ・り

Agriculture～農業～

第23号

平成23年5月1日発行

発行責任者
農場長 星久一郎

農場長より

農場長を務めます、星久一郎です。よろしくお願ひします。3月11日の震災原発事故の影響により農作物の出荷制限・作付け制限が行われているところですが、会津地域に於いては、地区農協だよりによると通常の農作業を進めてよいこととなり、本校の農場でも草花や野菜の播種、水田の準備が始まっております。5月23日には恒例行事の全校生181名で田植えも実施する予定で計画しております。

しかしながら、放射性物質の影響でより県内全域にいまだ野菜の一部は出荷規制が行われております。こうした事実は農作物全体に暗い影を残し、風評被害が広がっております。農場の生産計画も経費節減と風評による価格低迷のために見直しを進めているところです。こうした状況ですが、農場部としては、少しでも地域農業が元気になるような取り組みをしていきたいと考えています。

作物部門

作物部門は今年度、水稻(コシヒカリ)3.3ha・ソバ3.1ha、その他にサツマイモ・エゴマの作付けを予定しています。昨年度はインターネットによる農産物販売も本格化させ、精米やそば粉・エゴマ油を県外や中通り・浜通りに13件発送を行いました。今年もインターネット販売を予定しておりますので、本校のホームページをご覧ください。作物を専攻する3年が6名、2年生が8名でそれぞれ研究テーマを設けて取り組んでいます。3年生は畑作物を中心とした研究でそば、サツマイモ、コンニャク、ジャガイモ、ダイズの品種比較調査に取り組んでいます。2年生は水稻品種コシヒカリ、ひとめぼれの比較栽培、福島県オリジナル品種「天の粒」比較試験などに取り組んでします。

また、喜多方市の小学校との交流事業の実施を今年も予定しており、田植えや稲刈りを小学生と高校生とが一緒に体験学習を行う計画です。



星久一郎



安部 稔

畜産部門

今年度の活動として、生産関係では、現在受胎牛1頭が6月に出産する予定です。次に肥育牛は、6月にかけて6頭出荷する予定です。昨年は牛肉の値段が安かったため、目標額を下回ってしまいました。今年は良い結果になることを願っています。

プロジェクト学習は、3年生は昨年に引き続き《肥育牛の生育調査を試みて》というテーマで1年間調査・研究を行います。2年生は《仔牛の成育調査を試みて》というテーマで2年間調査・研究を行います。そして、三学期に行われる校内研究発表大会で充実した発表ができるよう指導していきたいと思ひます。

昨年の家畜審査競技は口蹄疫の関係で開催が中止になり、今年度も震災の影響で開催は未定です。



吉田 勇人



江川 純司

野菜部門

野菜部門は、各種多様な野菜の栽培・販売実習を行う予定です。また、夏野菜苗の販売も行いたいと考えております。苗の生育が低温により多少心配ですが、5月6日(金)3時半から4時半にかけて各種苗の販売をいたしますので、多くの皆様のおいでをお待ちいたします。その他、昨年同様農場入り口で野菜販売をいたします。町の防災無線「広報やまと」にてお知らせいたします。

プロジェクト学習では、3年生が昨年に引き続き野菜班が県大会の代表になりました。震災の影響で大会の有無が現在ははっきりしませんが、準備を進めているところです。



大竹 寿



永井 國之



小椋 勇樹

草花部門

今年度の生産計画を説明します。花壇用の苗は約4,000ポットを生産。鉢物の代表シクラメンが400鉢。その他の鉢物(カンナ・ペチュニア・トレニア・観賞用とうがらし・プリムラ類・シネリアなど)が1,200鉢の生産となります。ただいま温室の中は、花壇用の苗もの生産と、5月の中旬に売り出す予定の「カンナ」が温室を占領しています。花壇用苗(サルビア赤、青・マリーゴールド・ペゴニア等)は予約受付中!昨年来、「昔は販売に来ていたが最近来ない」とよく耳にします。地域で要望があれば販売させていただきたいと思ひます。是非ご一報ください。数がそろえば配達もします。

なお、今年より喜多方市からの要請で喜多方駅と市役所入り口付近に巨大オブジェを設置することとなりましたので、近くにおいでの際はお楽しみください。



佐藤 邦夫

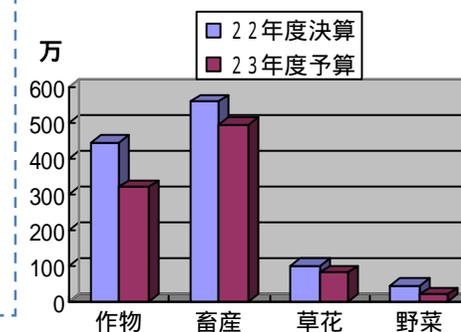


長峰 一真

農場会計

昨年度は、米価の値下がりやそばの不作などがあり、作物部門が大きく減収しました。また、畜産部門で和牛の受胎状況が悪い部分もありましたが、草花部門、野菜部門が予定量より上回り、全体としても当初予定数量を上回ることができました。

23年度は震災・原発の影響により、価格低迷が大きく予想され、予算も縮小していますが、今後の状況によっては次年度以降には回復も見込めます。なお、各部門の22年度決算額及び23年度予算額は、右のグラフのとおりです。



農業クラブより

今年度の農業クラブは、「多くの大会(種目)に参加しよう!!」というスローガンを掲げて日々活動しています。昨年度は、のべ18名が各種大会に出場し2名が入賞しました。その中でも農業鑑定競技では全国大会北海道大会へ出場しました。今年度は震災の影響もあり、現在大会の有無ははっきりしませんが、県大会代表を目指し、校内大会を進めているところです。

また、日頃からお世話になっている地域住民の皆様へ感謝の意を込めて、農業クラブ執行部が中心となり通学路の清掃活動を毎月1回行っていきます。

最後になりましたが、産業技術科の生徒は全員が農業クラブ員です。元気な活動の様子を保護者の皆様へ報告できるよう頑張っていきたいと思ひます。